

用ユルナリ又雑色ノ者數品アリ、雄ナル者ハ多痘ス、聲アル者モ喧シカラズ、汀州府志ニ、雄者聲ト能ハズ。○中一種カモアヒルハ形狀家鴨ニ異ナラズ、只能高飛スルコト野鴨ノ如シ、家鴨ノ驚飛ベドモ、一二歩ニ過ザルニ同カラズ、人家ニ畜ヒテモ馴ヤスシ、一種ヲランダアヒルハ一名バリケン、是ベルデ山エンテ鴨ノ轉ナリト云。薩州ニテクハンドウアヒルト呼、即廣東鴨ノ訛言ナリト云。フ、ソノ形常鴨ヨリ大ニシテ短冠アリ、彩色一ナラズ、蒼黒斑白、醬淡黑色足ハ黃或黑色ニシテ蹊アリ尾ハ鴨ヨリ長シ、常ニ喘スルニ似テ聲ナシ、卵ノ味鴨ヨリ美ナリ、是字貫ノ洋鴨ナリ、又南京アヒル、朝鮮アヒル等ノ品アリ。

〔農業全書
生類養法〕家鴨。

あひるは池河など水邊にて多く畜ベし、水草も多く稗など多く作るべき餘地ある所尤よし、其邊りに小屋を作り、内に棲トクナを作りて、狐狸などの災なき様に、いかにも堅くかこひて、雌鳥十あれば、雄鳥二つか三つの積りにて、土地と手前の分量によりて、いか程多くも畜ベし、雜穀粋は云に及ばず、浮草を多く入れ、又は野菜のゑりくづをいか程もおほく入る事一入よし、晝は水中に遊び、夕方悉くむらがり集り來り、塘に入やうに常にならはしをくべし、他の仕事のならざる、下人童などある物なれば、是をして餌を求める事、朝夕の出入を守らすべし、此外其者の少は得たる事をつとめさすれば、其口すぎは必ある物にて、年中の玉子は利分となるべし、一鴨一年に百五六十分の卵は產物なれば、百雌鴨の卵、凡一万五六千、此價やすくとも一貫目餘はあるべし、三分一は飼料萬の費となりても、過分の利潤なり、池澤など人家に近き所あらば、才覺ある人は見立て多く畜ベし、手足の不具なる者農事のあらく強き勵らきなりかぬる者に守り飼すべし、第一は其者の困苦を助け、慈仁ともなるべし。